

令和6年度 長崎県立諫早商業高等学校 職員自己評価表

教育方針	①商業の知識と技術を習得させ、時代の変化に順応し創造できる力と、共創しながら社会に貢献できる力を育成する。 (商業科) ②専門学科で培った知識や技能を活用し、共生社会の担い手としてグローバルな視点で他者と共創できる力を育成する。 (国際コミュニケーション科) ③高度IT社会で活躍するために必要な基本的知識・技術を習得させ、実践的な活用能力を育成する。(情報科)
教育目標	(1) 専門的・実践的な知識・技能を活かしながら、周囲と協働し論理的に課題解決策を他者に発信できる力を育み、将来、ビジネス社会のリーダーとして活躍できる人材を育成する。 (2) 一人一台端末を積極的に利用しながら個々の生徒の情報活用能力を高め、自ら学ぶ姿勢を育てる。また、礼節を重んじ伝統を重視し、部活動と学習の両立を奨励して文武両道の精神を養い、地域に信頼される学校を目指す。 (3) 地域の企業との協働学習に取り組み、より実践的な学びを実践する。また、外国語学科を持つ本校の強みを活かし、所属するALT(英語、中国語)および講師(韓国語)による「世界の文化等について」特別授業を実施してグローバルな視点の育成を図る。
キャッチフレーズ	Change & Challenge
重点目標	○主体的・対話的で、お互いに深め合う学びの充実 ○自他の尊重、社会連携の精神の涵養と共生社会に必要な能力・態度の育成 ○生徒主体の学校づくり ○安全・安心な学習環境の整備と施設設備の有効活用

【評価分野】 1 学校経営					
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	評価	
				昨年度	今年度
①学校教育目標	学校教育目標の具現化	学校の実態に即した目標が設定され、教師間の共通理解のもとに、教育目標の具現化を図る。	前年度の本校教育課題や生徒の実態を踏まえた適切な重点目標を設定する。	3.2	3.3
			校務分掌及び学年の経営方針にも学校教育目標を具現化する方策を盛り込んで実践する。	3.4	3.4
			目標達成の度合いを年度途中で評価・確認する機会を設け、その後の教育活動に生かす。	3.2	3.3
②学校経営方針	経営方針の明確化とその実践	経営方針が学校内に明確に示され、教職員間の相互理解と保護者・地域の支持に基づく教育活動を行う。	本校の教育課程を明確にして、中期的な学校ビジョンを検討する。	2.9	2.9
			各教職員が経営方針を意識して教育活動を展開する。	3.3	3.3
			教育方針や経営方針を生徒・保護者・地域等に説明したり、情報を流し、宣伝したりする機会を設ける。	2.5	2.7
③学年経営	学年目標の具現化	学校目標に沿った学年目標による経営を行う。	学年目標を教員・生徒へ浸透させ、その目標達成のための教育活動の展開を図る。	2.8	3.1
④学級経営	学級目標の具現化	学校目標及び学年目標に沿った学級づくりを行う。	学校目標や学年目標に沿って、学級の実態に応じた学級目標を設定し、学級経営を行う。	2.9	2.9
【評価分野】 2 教育活動					
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	評価	
				昨年度	本年度
①教科指導	分かる授業の展開と工夫・改善	指導方法に創意工夫がなされた授業を行う。	生徒の実態に応じて教材を精選し教育機器等を用いるなどして指導方法を工夫する。	3.3	3.4
	適切な学習評価		習熟度・添削等、個に応じた指導を行い、学力向上に取り組む。	3.2	3.4
	学習意欲や教科に興味関心を喚起させる授業の展開と工夫	生徒の実態に応じて教材の精選や工夫、教具の活用を行う。	生徒の家庭学習時間を一日平均60分以上にする。	2.0	2.1
			各種検定の合格率を上げ、生徒全員が2種目以上の資格を取得できるようにする。	2.8	2.9

評価基準： 4. 十分達成している 3. おおむね達成している 2. どちらかというと達成されていない 1. ほとんど達成されていない

